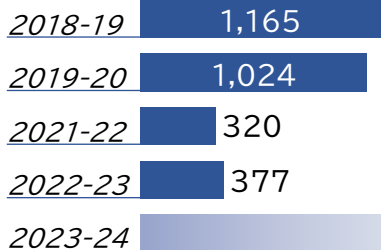


宿泊人泊数(冬季) 単位:千人



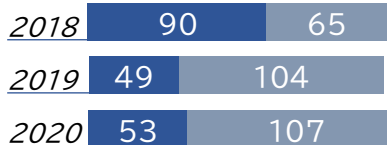
コロナ前の人泊数を
超える見込み

※ 冬季間は総宿泊者の約80%がインバウンド
(2021-22, 2022-23を除く)

最繁忙期は満室で予約お断りが発生している

宿泊施設数が増加すれば
最繁忙期はより忙しく

建築確認申請数(倶知安町) 単位:件数



準都市計画区域内
リゾートエリア
土地に限りあり
今後は件数減

都市計画区域他
周縁部、市街地
開発余地あり
今後は件数増

開発が山の周縁、市街地へと拡大している

2026年冬までに、12施設
1,200室超が開業予定

道路網



恒常的な交通渋滞で全員が不便・不満

来訪者満足度、公共交通や
物流、住民生活に悪影響

来訪者は増えるが、今ですら労働力が足りていない

宿泊施設や事業者の送迎にも限界がある。交通手段が不十分? 台数が増えても渋滞は?

現状が緩和・解消されない

エリアの魅力の低下

魅力の低下により

観光入込の低下
投資の減衰

地域の稼ぎが低下

生じさせてはならぬ将来課題

① 宿泊施設による自社送迎サービスの商品化(有料化)を可能に

ニセコエリアとしては道路網の状況もあり、個人運行の車両数の増加は望ましくない。ブランドを背負う宿泊施設による自社送迎サービスの商品化(有料化)可能とし、運行の安全性やサービス品質を担保する。複数の宿泊事業者による大型車両を用いた送迎の共同運行も促進でき、交通量の削減にもつながる。

② 自然資源を観光魅力として商品化する私企業への貸付要件設定

自然公園を借り受け、雪という自然資源を商品化している私企業にとって、私企業である以上、自社利益の最大化が行動基準となり、地域全体の魅力向上や価値向上は二の次となる。その地域にとっての「目玉商品」である魅力を活用し商品化する私企業へ公有地を貸付する際には、当該私企業が地域全体にとって持続可能であり、地域に住まう住民の生活の質が向上する、一種のノブレス・オブリージュ的な考えと計画をもつことを要件化する。

③ 人材の確保

国内からでは調達しきれない労働力を確保するには、外からの調達せざるを得ない。現行の就労ビザ要件では不足している労働力を補えない。例えば、6ヵ月～12ヵ月の季節労働ビザのような区分を新設し、当該ビザ区分での就労者への諸税を緩和し、国内労働力で補えない時期・職種を海外労働力で補えるようにする。